

県道西鶴中井迫線（旧道―バイパス）用地確保が進展

「イラクへの自衛隊派遣の中止を求める意見書」を可決

四町合併での本庁舎の位置決定は前提条件

合併問題調査特別委員会が協議会に修正提案

12月定例会

十二月定例会を十一日から十九日まで八日間の会期で開き、各会計補正予算・条例改正・財産購入の承認などを審議しました。また、第七回合併問題調査特別委員会を開き、合併後の庁舎のあり方などを審議しました。

一般会計補正予算で県道西鶴中井迫線（旧道からバイパス）

スまでの高架道路）建設に関連した補正増が主なもので、文化ホール周辺の県道用地確保の進展につながるものです。特別会計では国民健康保険の医療費支出が五千五百万円増加。国の健康保険制度改正により、前期高齢者（七十〜七十五歳）の医療費が国民健康保険に移行した影響とみられ

今後更に国保の財政運営が苦しくなることが予想されます。

審議の結果、予算、条例案ともに全員賛成で可決。

また追加議案として新体育館の事務

備品購入契約（一二九六万円）を承認。一般質問は八

人が行いました。請願「保育所運

営費と施設整備費の一般財源化反対（国予算）」、陳情

「町道町区日暮線

西鶴中井迫線交差点予定地付近



拡幅（町区）」を全員賛成で採択。議員発議で「イラクへの自衛隊の派遣の中止を求める意見書」が提案され、賛成多数で可決しました。

合併問題調査特別委員会では、新市の庁舎のあり方について「四町役場の機能をそのまま機能させる（総合支所方式）、新庁舎建設と本庁の確定は、合併後に検討する」という協議会からの提案に対して意見が多数出され「本庁舎の位置は合併前に協議、決定すること」を前提条件として

全員賛成で協議会に修正案を出すこととしました。

臨時議会（十一月十七日）

人事院勧告に基づき給与改定十一月十七日に臨時議会を開き、人事院勧告に基づき職員給与などの減額が提案され、賛成多数で可決しました。一般職員二百四人に対して三千百五十八万円の給与が減額されることになりました。

請願・陳情の審査結果

請願

保育所運営費と施設整備費の一般財源化反対（菊池郡私立保育連盟） ◎採択

陳情

町道・町区日暮線の拡幅（町区） ◎採択
日暮橋架け替え（"） 継続審議
農業振興地域指定の除外 審議不要

15年度補正予算

◎全員賛成
○多数賛成

会 計 名	予 算 額	補正額
◎ 一般会計	110億812万円	2億544万円
特別会計		
◎ 国民健康保険	20億9,422万円	1億2,631万円
◎ 交通災害共済	989万円	△729万円
◎ 老人保健	28億9,071万円	2億6,363万円
◎ 公共下水道	13億4,204万円	236万円
◎ 介護保険	13億6,262万円	45万円

「イラクへの自衛隊派遣の中止を求める意見書」

日本政府は「イラク復興支援特別措置法」にもとづき、自衛隊をイラクに派遣しようとしています。イラクでは、つい先日、日本人外交官の尊い命まで犠牲になりました。心から哀悼の意を表明すると同時に、新たな犠牲者を出さないことが大切です。

米英国の軍事占領が事実上続いているイラクでは、今なお戦争状態であり、ここに自衛隊が武装して派遣されれば、更にテロや報復の標的にされかねません。

日本はこれまで、海外の戦争に参加しない国として、中東諸国や世界でも尊敬と信頼をあつめてきました。自衛隊

の派遣は、こうした信頼をなくしてしまうばかりでなく、なによりも自衛隊員自身の命が危険にさらされます。武力で押さえつける米英国の軍事占領では、新たな憎しみが増すばかりで更なるテロの繰り返しです。イラクの国民のことを考えれば一日も早く国連中心の枠組みによる復興支援にこそ力を入れるべきです。首相は、自衛隊の派遣決定に際し、日本国憲法の前文を引用しましたが、憲法の精神を生かそうとするならイラクへの自衛隊派遣の中止こそ、勇気をもって決断されますよう強く要望します。

提出先 内閣総理大臣他